※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ３０３５ |
|---|---|

# 令和５年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 歴史総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「詳述歴史総合」　（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 詳述歴史総合徹底演習ノート（実教出版）　ダイアローグ歴史総合（第一学習社） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の世界は互いに影響し合って発展している。今の社会がどのように形成されたか。「世界とその中の日本」の近代の歴史を学ぶことで、現代社会の成り立ちを明らかにしよう。また、現代社会は常に変化し、私たちは選択を迫られている。主体的に考え、積極的に社会に貢献するにはどうすればよいのか。歴史的な思考は、私たちに多くのことを教えてくれる。

「近代化」・「大衆化」・「グローバル化」の３つの視点から、教科書をきちんと学ぶことはもちろんのこと、現代社会おける諸課題に関心を持ち、先人の築いた歴史の上に立って、諸課題を乗り越えるために学び、考察しよう。

## ２　学習の到達目標

・近現代を理解するための基本的な知識を身につける。基本的な知識とは、歴史に関する知識のみならず、それに関わる地理分野・公民分野に於ける知識も必要である。
・資料（史料・図・表・グラフなど）を読み取り、考察する力を身につける。
・知識や資料など複数の根拠をもとに、歴史的に物事を理解し、国際的な視野に立って客観的に判断する力を養う。
・自らの学びをもとに主体的に考察し、総合的に判断して、現代社会の諸課題に気づき、よりよい社会の構築に向けて貢献できる資質を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・近現代の歴史を理解するための歴史的・地理的・公民的な基本的な知識、および一般常識を、教科書をはじめとする教材を通じて学び、身につけている。<br>・歴史の根拠となる資料についての知識を深め、これを読み説く技能をもっている。 | ・歴史的なものの見方・考え方にもとづいて、複数の資料や知識を比較・検討して、現代社会の諸課題について考察を深めることができた。<br>・考察の結果を、国際的な視野にたって合理的に判断し、また、その過程を記録し、様々な手法を用いて、わかりやすく表現した。 | ・中学校の社会科における学習の成果を生かし、主体的に理解を深めるよう努力している。<br>・近現代の歴史に関して、興味・関心を持ったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。<br>・自らの学習を振り返り、学習を改善しようとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 歴史の扉 | 1 歴史と私たち<br>2 歴史の特質と資料 | a：私たちの周囲の諸事象の日本や世界の歴史と関連性や資料に基づき歴史が叙述されていることを理解している。<br>b：近代化･大衆化･グローバル化などの歴史の変化と日本や世界の歴史との関連性について考察し，複数の資料の関係や異同に着目して資料を読み、意味･意義･特色を考察する。<br>c：中学校での学習成果を生かし「歴史総合」を学ぶ意義や目的、歴史的な考察方法やその特質について主体的に理解を深めようとしている。 | 定期テスト<br>ノート | 定期テスト<br>ノート<br>レポート | 学習状況<br>レポート<br>振り返り |
| | 第一章 近代化への胎動 | 1 ヨーロッパの海外進出と市民社会<br>2 清の繁栄<br>3 東アジアの諸国間の貿易<br>4 江戸時代の日本の対外政策<br>5 江戸時代の社会と生活 | a：18 世紀頃のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係，両地域における社会・文化に関する基本的な知識を，複数の資料を活用し十分に理解できている<br>b：18 世紀頃のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係，両地域における社会･文化に関する問いに対し，歴史的なものの見方･考え方に基づいて思考し複数の根拠を基に判断･表現できている。<br>c：18 世紀頃のアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係，両地域における社会・文化に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 定期テスト<br>ノート | 定期テスト<br>ノート<br>レポート | 学習状況<br>レポート<br>振り返り |
| | 第二章 欧米の市民革命と国民国家の形成 | 6 イギリス産業革命<br>7 アメリカ独立革命<br>8 フランス革命とナポレオン<br>9 ウィーン体制<br>10 19 世紀のイギリスとフランス<br>11 イタリア･ドイツの統一<br>12 東方問題と 19 世紀のロシア<br>13 アメリカの発展と分裂<br>14 世界市場の形成 | a：19 世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き，イギリスの産業革命をきっかけとした 19 世紀の世界経済の変化に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。<br>b：19 世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き，イギリスの産業革命をきっかけとした 19 世紀の世界経済の変化に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づき思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。<br>c：19 世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き，またイギリスの産業革命をきっかけとした 19 世紀の世界経済の変化に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 定期テスト<br>ノート | 定期テスト<br>ノート<br>レポート | 学習状況<br>レポート<br>振り返り |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 第三章 アジアの変容と日本の近代化 | 15 イスラーム世界の改革と再編<br>16 南アジア・東南アジアの改革と再編<br>17 アヘン戦争の衝撃<br>18 揺らぐ幕藩体制<br>19 開国<br>20 幕末政局と社会変動<br>21 新政府の成立と諸改革<br>22 富国強兵と文明開化<br>23 近代的な国際関係と国境領土の確定<br>24 自由民権運動の高まり<br>25 立憲国家の成立 | a：19 世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。<br>b：19 世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。<br>c：19 世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 定期テスト<br>ノート | 定期テスト<br>ノート<br>レポート | 学習状況<br>レポート<br>振り返り |
| | 第四章 帝国主義の時代 | 26 帝国主義と世界分割<br>27 帝国主義期の欧米社会<br>28 条約改正<br>29 日清戦争<br>30 日露戦争から韓国併合<br>31 日本の産業革命と社会問題<br>32 アジア諸民族の独立運動・立憲革命 | a：帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係，アジア・日本での国民国家形成の動きに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。<br>b：帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係，アジア・日本での国民国家形成の動きに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。<br>c：帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係，アジア・日本での国民国家形成の動きに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 定期テスト<br>ノート | 定期テスト<br>ノート<br>レポート | 学習状況<br>レポート<br>振り返り |
| | 第五章 第一次世界大戦と大衆 | 33 緊迫する国際関係<br>34 第一次世界大戦<br>35 ロシア革命とシベリア出兵<br>36 大戦景気と米騒動<br>37 ヴェルサイユ条約とワシントン体制 | a：第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化，また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。<br>b：第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化，また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている | 定期テスト<br>ノート | 定期テスト<br>ノート<br>レポート | |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 社会 | 38　西アジア･南アジアの民族運動<br>39　東アジア･東南アジアの民族運動<br>40　戦間期の欧米<br>41　広がる社会運動と普通選挙の実施<br>42　政党内閣の時代 | c：　第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化，また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | | | 学習状況<br>レポート<br>振り返り |
| 三学期 | 第六章　経済危機と第二次世界大戦 | 43　世界恐慌<br>44　ファシズムの時代<br>45　満州事変と軍部の台頭<br>46　日中戦争<br>47　第二次世界大戦とアジア太平洋戦争<br>48　戦争と民衆<br>49　敗戦<br>50　国際連合と戦後世界<br>51　戦後と占領の始まり<br>52　民主化と日本国憲法<br>53 冷戦の開始<br>54　朝鮮戦争と日本 | a：世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的変化，第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。<br>b：世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的変化，また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断･表現できている。<br>c：世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的変化，また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 定期テスト<br>ノート | 定期テスト<br>ノート<br>レポート | 学習状況<br>レポート<br>発表<br>振り返り |
| | 第七章　冷戦と脱植民地 | 55　冷戦対立の推移<br>56　植民地の独立と第三世界の出現<br>57　米ソ両陣営の動揺<br>58　日本の国際社会復帰と高度経済成長 | a：冷戦下の世界における国際関係の変化，アジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。<br>b：冷戦下の世界における国際関係の変化，アジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する問いに対して，歴史的な見方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断･表現できている。<br>c：冷戦下の世界における国際関係の変化，またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 定期テスト<br>ノート | 定期テスト<br>ノート<br>レポート | 学習状況<br>発表<br>振り返り |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第八章　多極化する世界 | 59　石油危機と世界経済<br>60　緊張緩和から冷戦の終結<br>61　地域協力の進展<br>62　日本の経済大国化 | a：石油危機をきっかけとした世界経済の変化，また 1970 年代以降の世界の多極化の動きに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。<br>b：石油危機をきっかけとした世界経済の変化，また 1970 年代以降の世界の多極化の動きに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている<br>c：石油危機をきっかけとした世界経済の変化，また 1970 年代以降の世界の多極化の動きに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 定期テスト<br>ノート | 定期テスト<br>ノート<br>レポート | 学習状況<br>発表<br>振り返り |
| | 第九章　グローバル化と現代世界 | 63　冷戦体制の終結<br>64　地域紛争と世界経済<br>65 グローバルな認識へ | a：冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化，現在世界が直面している課題に関する基本的な知識を複数の史・資料を活用し十分に理解できている。<br>b：冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化，また現在，世界が直面している課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。<br>c：冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化，また現在，世界が直面している課題に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 定期テスト<br>ノート | 定期テスト<br>ノート<br>レポート | 学習状況<br>発表<br>振り返り |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度